

第1回 ニチジュウ シンポジウム2018

～本学の特色ある 研究の取り組み～



2018/12/7 Fri 13:00～

場 所 日本獣医生命科学大学
E棟111講義室

対象者 本学教職員
学生（大学院生・学部生）
同窓生等

※今回は学内イベントのため、一般の皆様
はご参加できませんので、ご了承ください。

プログラム

13:00～ 学長挨拶
シンポジウム趣旨説明 (研究推進委員会)

13:20～ ニチジュウ シンポジウム



【演題】
犬猫におけるてんかん外科実現に向けて：
過去と未来
【講演者】 獣医学部 長谷川 大輔 准教授



【演題】
腸管上皮細胞の培養系構築と食品成分に
よる機能制御
【講演者】 応用生命科学部 戸塚 護 教授

14:30～ 一般発表（※詳細は右記のとおり）

18:30～ 表彰式（学生優秀発表賞）
研究交流・懇親会
◆場所 カフェテリア「むらさき」
（※聴講者 参加無料）

一般発表詳細

教員

- ウイルスは環境でどう存続するか？動物種間で繋がるか？
1. 一感染制御に向けた分子疫学・生態学的研究
青木 博史 (獣医保健看護学基礎部門) ほか
 2. 犬の歩行動作における各関節の役割に関する研究 (関節角度に関する考察)
原田 恭治 (獣医外科学) ほか
 3. イヌ乳腺腫瘍細胞株で生じたp53遺伝子変異の検出と機能解析
落合 和彦 (獣医保健看護学基礎部門) ほか
 4. 小学校3年生を対象とした通年の「馬の授業」が子どもの身体に及ぼす
影響の検討-三鷹市の事例から-
柿沼 美紀 (比較発達心理学) ほか
 5. ネコAB式血液型を担う *CMAH* 遺伝子変異の同定とその応用
近江 俊徳 (獣医保健看護学基礎部門) ほか
 6. Voxel-based morphometryを用いた家族性自然発症性てんかん猫に対する
脳構造解析
濱本 裕仁 (附属動物医療センター) ほか
 7. 都市部に生息する野生動物の保護管理方法の確立に向けた研究
山本 俊昭 (獣医保健看護学応用部門) ほか
 8. 低加圧二酸化炭素マイクロバブルの殺菌効果と細胞損傷の関係
小林 史幸 (食品工学) ほか
 9. 犬悪性黒色腫細胞化細胞におけるがん幹細胞の同定および特性解析
道下 正貴 (獣医病理学) ほか
 10. エキゾチックアニマルとコクシジウム感染症
常盤 俊大 (獣医寄生虫学) ほか

学生

11. 犬の肥満細胞腫細胞株を用いたトセラニブ耐性化機構の解析
栗田 晟那 (獣医学専攻) ほか
12. 海産魚類ヒラメのMHCクラスII陽性細胞について
宮下 素優 (獣医学科) ほか
13. 腎肥大を伴う新規の2型糖尿病モデル動物
土門 綾華 (獣医学専攻) ほか
14. 精米と炊飯における米の放射性セシウムの動態
富田 樹 (食品科学科) ほか
15. マウスへの線虫 *C. elegans* 投与によるIgE産生機序の解析
後藤 夢実 (応用生命科学専攻) ほか
16. てんかん外科 - 皮質および海馬切除 - を適応した難治性てんかん猫の1例
浅田 李佳子 (獣医学専攻) ほか
17. 野生化アライグマにおけるマダニ拡散リスクに関する研究
土井 寛大 (獣医学専攻) ほか
18. 二酸化炭素マイクロバブルによるα-アミラーゼの失活
中島 理沙 (食品科学科) ほか
19. *IDH1* イヌホモログの新規変異が機能におよぼす影響の検討
川上 翔太 (獣医保健看護学専攻) ほか

主催 日本獣医生命科学大学 研究部 研究推進委員会

【お問い合わせ先】

日本獣医生命科学大学 研究推進課 TEL:0422-31-4151 E-mail:research@nvl.u.ac.jp